受 理 番 号	陳情第37号
件 名	安心して子どもを生み育てられるように広島市の保育予算を増やし保育行政の充実を求めることについて
要 旨	<p>長く強く要求し続けてきた4・5歳児の配置基準が、76年ぶりに30対1から25対1へと改善された。しかし、「当分の間」の経過措置からは完全実施の姿はいまだ見えず、日本の配置基準は世界的にも貧しいままである。また一方で保育士不足は顕在化しており、保育従事者の処遇改善も合わせて、更なる改善とそのため財源確保は緊急の課題である。</p> <p>今や、自然災害や犯罪・事故の増加などこどもや保護者を取り巻く環境は日々変化する中、こどもの発達を保障し命を預かる施設の役割はより高まっている。</p> <p>広島市のこどもたちが豊かな経験を積み重ね育っていけるよう、また保護者が安心して預けられるよう、広島市の保育行政に対して、下記の事項について連署をもって陳情する。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 全てのこどもの権利を保障するために、国・自治体の責任を堅持・拡充して、保育・学童保育の基準・施策を抜本的に改善し、予算を増額すること。 2 1歳児の職員配置基準を始め、全ての年齢の配置基準を更に改善すること。 3 保育・学童保育において、こどものために十分な保育士・職員を確保できるよう、賃金・処遇・労働条件を抜本的に改善すること。 4 給食費も含め、全てのこどもの保育料を無償にすること。 5 子育て支援施策は、国・自治体の責任の下で、こどもの権利が保障され、誰もが安心できるよう、十分な人と予算を付けること。 6 公立保育施設の維持・存続により、災害時や感染症まん延時などにおいても広島市の保育責任が果たせるよう、市として必要な財政措置などを講じること。 7 3歳以上児の給食は主食を含めた完全給食にすること。